

様式 C-26

「当初計画」に記載の項目及び予定と、「研究概要」の記載内容・時期が一致するように記載してください。

繰越（翌債）を必要とする理由

「研究概要」には、「当初計画」欄の記載内容に沿って、いつまでに何を行う予定であったかを簡潔に記載してください。

機関番号：10205

研究機関名：虎ノ門大学

課題番号：22852162

繰越(翌債)承認要求額：1,300,000円（内訳：直接経費 1,000,000円・間接経費 300,000円）

研究課題名：〇〇理論に関する〇〇的研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前準備 (H22. 4～H22. 6) ○ 〇〇論精査 (H22. 7～H22. 8) ○ 〇〇会議開催 (H22. 9) ○ 〇〇的理論精査 (H22. 10～H23. 1) ○ 成果とりまとめ (H22. 2～H22. 3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前準備 (H22. 4～H22. 6) ○ 〇〇論精査 (H22. 7～H22. 8) ○ 〇〇会議開催 (H22. 9) ○ 〇〇的理論精査 (H23. 3～H23. 7) ※ 6ヶ月の遅延 ○ 成果とりまとめ (H23. 8～H23. 9) 	<p>(研究概要) ※2～3行程度</p> <p>平成22年9月に〇〇調査結果を検討する〇〇会議を開催し、会議での検討結果を踏まえ、〇〇を専門とする研究協力者に参画の内諾を得て、〇〇的理論を精査し、平成23年3月までに研究成果を取りまとめる予定であった。</p>
<p>完了時期と一致します。</p>		<p>「変更後の計画」には、当初計画からの内容・時期の変更点を追記してください。</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成22年8月</p>		<p>事由(注)</p> <p>記号等 ① キ 計画に関する諸条件(研究協力者の確保難)</p> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3行程度</p> <p>平成22年8月、研究協力者の都合により、急遽本研究に参画できなくなった旨の連絡があり、〇〇的理論の精査の着手に6ヶ月の遅延が生じた。</p>
<p>補助事業の完了時期 平成23年9月30日：6ヶ月延長</p>		

繰越事由の発生した時期を記載してください。

記号等が、「①エ 計画に関する諸条件(計画の変更)」、「⑦ア 研究に際しての事前調査」、「⑦イ 研究方法の決定の困難」及び「③ア～エ 気象の関係」に該当する場合は、本欄への記載は不要です。